記者発表様式

１件１枚で作成してください。

所属（　市民活動推進課・生活安全課　）担当者（　松成・高山　）

タイトル

東京都小金井市との文化交流連携協力及び防災応援協定を締結します

概要（発表内容を簡単に記入してください）

宗像市・小金井市の両市で縁のある中村研一の作品展をはじめ、文化交流を通じて両市の文化振興の推進を図るため文化交流の連携・協力に関する協定を締結します。

また、災害発生時に、市独自では十分な応急対策や復旧対策を実施することができない場合において、必要な物資の提供や人的援助などの応援を円滑に遂行するため、防災応援協定を締結します。

内容（発表内容のポイントを記入してください。別紙資料でも可能）

【締結式】

●日　時　１１月１日（木）　９：３０～１０：００

●場　所　宗像市役所北館・２０２会議室

●出席者

▽小金井市＝稲葉孝彦市長、川合修市民部長、大澤秀典危機管理担当部長

▽宗 像 市＝谷井博美市長、福崎常喜市民協働・環境部長、永尾英信総務部長

●協定内容

▽宗像市と小金井市との文化交流の連携・協力に関する協定書

▽宗像市と小金井市の災害時相互応援に関する協定書

※別紙、協定書参照

【経緯】

両市の交流のきっかけは、洋画壇の重鎮であった中村研一です。

中村研一は宗像市出身の洋画家で、大正から昭和にかけて、帝展や日展などいわゆる官展系の美術展を中心に次々と作品を発表し、多くの賞を受賞するなど活躍しました。第二次世界大戦時に空襲で東京・代々木のアトリエを焼失、小金井に移り住み、さまざまな美術会で審査員や理事を務めながら、終生小金井で作品を描き続けました。

研一の没後、妻である富子夫人が作品を後世へ伝えるために独力で美術館を開館し、後に小金井市に寄付され、現在は「中村研一記念小金井市立はけの森美術館」となっています。

元々、小金井市で富子夫人が運営する中村研一美術館と、宗像市で中村嘉彦館長が運営する中村研一・琢二生家美術館との交流があり、また、以前から両市長の交流もありました。平成２２年に宗像ユリックスに市民ギャラリーがオープンし、このオープニング記念イベントとして、中村研一記念小金井市立はけの森美術館から研一の多くの絵画を借りて開催した中村研一展から、協定に向けての動きが始まりました。

本件に関する報道関係者の方のお問い合わせ先（所属、担当者名、℡）

■問い合わせ先

▽市民活動推進課　担当／松成　ＴＥＬ０９４０－３６－１５４０

▽生活安全課　　担当／高山　ＴＥＬ０９４０－３６－５０５０